

## 世界銀行による世界初の「パンデミック緊急ファシリティ」への参加

東京海上日動火災保険株式会社（社長 北沢 利文、以下「当社」）は、2017年7月、感染症危機管理のための国際的な取組みとして、世界銀行が立ち上げる「パンデミック緊急ファシリティ（PEF: Pandemic Emergency Financing Facility）」に参加いたしました。

当社は、パンデミックデリバティブの引受を通じて、国際的に脅威となる感染症に対する官民連携による取組みを支援し、安心・安全でサステナブルな未来づくりに貢献してまいります。

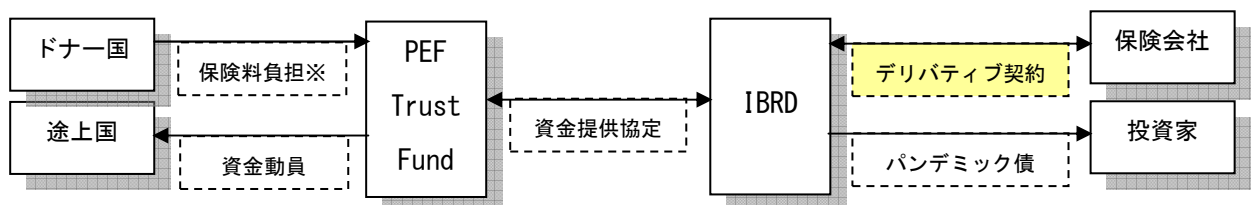
### 1. 「パンデミック緊急ファシリティ」創設の背景

日本国政府は、2016年5月に開催されたG7「伊勢志摩サミット」の議長国として国際保健の問題を取り上げ、世界銀行や世界保健機関（WHO）との協力の下、エボラ危機の教訓を踏まえた公衆衛生危機に対応する新たな資金メカニズムとして、世界銀行に「パンデミック緊急ファシリティ（以下、PEF）」を立ち上げました。日本国政府は世界に先駆けて PEF への資金的な貢献も表明し、他の国々に対して協力を呼びかけてきました。

### 2. 本ファシリティの概要

PEF は、途上国においてパンデミックが発生・拡大した場合に、迅速かつ円滑に資金援助が行えるよう、その資金的な裏付けとして、世界銀行グループの国際復興開発銀行（以下、「IBRD」）が保険会社とのデリバティブ取引や投資家向けのパンデミック債の発行を行うもので、世界初の取組みとなります。

WHO が公表するデータに照らして死者数、死者の増加スピード、罹患国数等が予め定めた支払条件に達した場合、当社は、予め設定した補償金を IBRD に支払います。



※日本国政府は2016年5月に開催された「G7 財務大臣・中央銀行総裁会議」に先立ち、3年間で5000万ドルの拠出を表明しました。

### **3. 東京海上グループにおける感染症対策の各種取組み(ご参考)**

東京海上グループでは、CSR(企業の社会的責任)の取組みとして、「保険・金融サービス・リスクコンサルティングを通じた、感染症対策に繋がる取組み」を実践し、社会全体の感染症リスクへの対応力を高める取組みを進めています。

#### リスクコンサルティングを通じた取組み

- ・東京海上日動リスクコンサルティング社を通じた「感染症(新型インフルエンザ)対策コンサルティングサービス」の提供(※)
- ・企業向け「新型インフルエンザ対策ハンドブック」の提供

(※)お客様の事業内容や形態、規模等を考慮し、機能的かつ実効的な感染症対策の体制構築、マニュアル・規定作成等を支援します。訓練においては、パンデミックを想定し、対策本部員を対象に、ニュース速報や電話から入る情報を処理しながら対策本部運営や意思決定を行うシミュレーション訓練の実施を支援します。

東京海上グループは感染症リスクへの対応力を高めると共に、上記取組みや「パンデミック緊急ファシリティ」への参加を通じて、安心・安全でサステナブルな未来づくりに貢献してまいります。

以上